

(3)委員からの情報提供「特徴・歴史」

小松委員

「よみがえれ大和川 堺からの発信」 配付資料

よみがえれ大和川 堺からの発信

2004・11・29

堺市立向丘小学校

大和川流域委員会

小松清生

I 堺の小学校から

1、小学4年生社会科「大和川のつけかえ」を学習(95年度) 「大和川かるた」を作る

- ①身近な川への興味と願いから出発して、調べ、考え、話し合う。
- ②地図・資料・年表・映像を活用。立体地図を作成。感想や意見交流、探検活動。
- ③中好幸氏との出会いや地元の史跡探訪など、「ほんもの」にふれる感動。
- ④子どもたちの学びの交流と父母の協力。

2、「大和川かるた」でつづる川の歴史と願い

3、奈良～大阪の子どもたちに贈る『わたしたちの大和川』 副読本とCDROM

4、大和川のつけかえ 『わたしたちの堺』(堺市初等教育研究会社会科部会編)2005年版より

II 堺と大和川のあゆみ

「利よりも害 港つぶした 大和川」(『堺かるた』(堺文化観光協会発行))とわれ続けてきたが・・・

1、300年前、大和川がやってきた

①大和川つけかえ前の堺 ・「堺の住吉さん」を描いた堺住吉祭礼図屏風

②大和川つけかえと堺

- ・依網池が大和川に 大和川池中貫通見取図 (大依羅神社所蔵)
- ・狹間川が大和川に! 西除川もやってきた
- ・浅香の曲がりと浅香山稻荷
- ・唯一の架橋 大和橋

2、大和川がやってきて

①川を歓迎? 迷惑? 舟運 水害 利水・・・? ・五箇荘 遠里小野 七道の分断

②ひろがる陸地・港の改築

- ・三宝地域の新田開発 1737 元文2年～1853 年嘉永6年
1751 宝暦元年南島新田2年松屋新田・山本新田→「三宝」

・大浜一帯 新地の開発

○港の改築・改修は6回以上(中井正弘氏の研究)

1790～1798 吉川俵右衛門「砂持興業」

今の堺旧港は1855 安政2年・北灣戸開削で完成

○1817 文化14年波止の再掘

1836 天保7年内川・旭川の開削と御蔭山

③明治の堺 ・伝統産業・商業と白砂青松のリゾート都市の先駆

- ・晶子が歌った板の橋
- ・大和川から取水した堺の水道（1910～1978）

④あいつぐ水害

室戸台風（1934 昭和 9 年）の被害と復興 ・工業立市ひとすじ（戦災復興も）
1982 年水害→激甚災害復旧 西除川ショートカット（^{しょうすいりゅう}捷水路）

⑤海に背を向け、川を汚して

50 年前まで、貝や魚をとち、泳ぎ、洗濯し、船をうかべた川を忘れて・・・

3、今 ワースト1の川と言われても

- ・大阪中の4年生が学ぶ郷土の開発 淀川 大和川
- ・1997 年 河川法の改正 キーワードは環境と住民
- ・堺の漁師さんたちのとりくみや住民の願い 河口に干潟造成中
- ・再び、川と海に光を

III つけかえ300周年の堺で

1、大和川つけかえ300周年記念事業堺市市内連絡会

- ・堺と大和川 歴史パネル展（7/17～10/29 市内巡回）とミニフォーラム
- ・市内4年生全員アンケート
- ・市内連絡会・4小学校教員と小学生による
キッズプロジェクト大和川子どもまつり（10/10 延期 11/27 に）

2、図書館が大和川ブックフェア・堺市博物館が初めて大和川をテーマに研究と展示

- ・マイナスもプラスも含めて、堺の歴史と大和川についての研究を深める。

3、大和川を生かしたまちに

- ・大和川を市民のオアシスに。目標は「遊べる川」への再生
浅香に人工溪流（瀬と淵浄化施設）・川あそびのエリアをつくりたい。
- ・まちの川・池・水路も美しく（環境をよみがえらせよう 内川・土居川まつり 10/3）
- ・安心・安全の川と自然再生の川づくり 行政の姿勢と住民の参加・自覚と協力
- ・大和川と堺の歴史・文化・くらしの記録のとりくみ
（「300年」事業の成果をCDROMに収録 全小学校・図書館等に寄託）
- ・堺の歴史と大和川 パネル常設展示の大和川学習館がほしい
川とふれあって遊び、学ぶ、市民・子どもたちの研究と活動のセンターに
（参考・宮崎市大淀川学習館）

IV 300周年の大阪で

1、大和川つけかえの史実を研究する機運のもりあがり

- ・7地域博物館などが参加した大和川水系ミュージアムネットワーク
地域からの大和川研究の発信と連携 充実した11/13 記念シンポジウム

2、250周年記念碑など、つけかえの歴史を歪める記述の問題点是正への前進。

東大阪市今米公園中甚兵衛翁碑前説明板の全面書き換え・11/6 大和川関連歴史の道整備記念ウォーク

3、大和川について学ぶ市民・教育関係者のとりくみがつながってきた

よみがえれ 大和川

小松 清生

4年 9月

学校のすぐ北隣に西除川^{にしよろがわ}、その四〇メートルほど北に大和川が流れています。四〇年ほど前まで、西除川で夕食の魚を釣り、大和川で学校水泳をしたというのに、今や大和川は一級河川のワースト^{ワースト}。大昔、この川が氾濫をくり返しながら河内平野を造り、河内の農民の願いと運動でつけかえられたことを学び、歴史への興味をふくらませながら、「よみがえれ大和川」の願いも育てたいととわくんでいます。

単元のねらい

①大和川のつけかえに努力した先人の願いや働きかけを知り、工夫や努力に気付く。

②現在と過去の大和川に興味を持ち、地図・資料・年表などを活用して調べる。

(3)大和川の開発が地域の人々の生活にどうかかわってきたかを考える。

(4)現代の開発や地域の問題に気づき、住民としての願いをもって考える態度を養う。

授業展開

「大昔の大和川」を学習した後、三〇〇年ほど前の大和川の様子を予想し合いました。「海がなくなってしまうんじゃない?」「上町台地が陸続きになってると思う」「湖が池になった」「川と川が合体してるかも分かるん?」など、楽しそうに発言が続きました。

江戸時代の地図で確かめると、ほとんどが正解。「淀川と大和川が合体してるんともがう?」と言った子は誰よりも喜んでいました。その頃のくらしの様子が分かるお話の現代語訳を読み、やさしく解説しました。「洪水図鑑」の絵を見て気がついたことを発表し合い、一九八二年に校区一帯が水害にあった時の話もMさんの記録で思い出しました。

洪水年表を読み、堤防が切れたという地名に×印をつけていくと地図は×だらけです。

次の時間にこの地区を見直しながら、「三〇〇年前、河内は水びたし、どうしたらいいか?」と考えを発表し合いました。「高い所へにける。」「じょうぶなていぼうにする。」「

などの河川工事と共に、「川を早く海に流したらいいんじゃない? 遠くまでぐちゃぐちゃに流れてたのをまっすぐにしたら短くなる。」という意見も出ました。

標の副読本の「大和川つけかえ運動の年表」で確かめます。一行目に「一六五七年 中基兵衛、幕府につけかえを訴えに行く」とあります。「中基兵衛さんが、大和川を短い距離で海へ流そうと考えた人です。」と言うと「すごい。」と拍手。「その人の孫の孫の子どもの中好幸さんが会いに来てくれます。」と言うと、「やったー。」と大喜び。

工事の様子について学習した後、自分たちで作った校区付近の立体地図を使って、大和川の秘密を探りました。上町台地の部分が高いのが分かります。そこを川が流れています。「水は低いところに流れるのに変だ」と気づき、川を掘ったことが分かってきます。カッターナイフで、台地の部分の川を掘らせ、「ミニミニつけかえ」をさせました。

上町台地では、川を掘り下げ土を依羅池に捨てて新田を作りました。西除川も依羅池の南につけかえ、決闘川に大和川を合流させました。これらを立体地図で読みとりました。

中好幸氏の特別授業は、基兵衛が川のつけ

単元の流れ(総時間数14時間)

時	小単元	ねらい	学習活動・内容	資料
1	現在の 大和川	大和川への認識を深め、 探求学習の意欲をもつ	・知っていることを発表する ・合流している川を調べよう (校区周辺地図や近隣の地図で) 「すごい川なんやなあ！」 ・大和川の上流の様子をビデオで観察	大和川流域地図 (171河川)
2 3 4	昔の大 和川	氾濫をくり返した大和 川の様子を知る	・大阪平野の古地図(古文-古墳)を比 べて考える「平野を造ったのは淀川と 大和川だ！」 ・300年前頃はようになっていたかな？ 「河内湖もなくなり池と川だけ！」 ・その頃の様子をお話や絵で調べよう 「池の魚や鳥や葦をとってたのか」 「洪水で人が屋根に逃げている…」 ・洪水年表と地図をもとに考える (堤防決壊場所を地区に×印記入) 「×だらけ。河内は水びたし！」	昔の大阪平野 300年前の地図 (作業) 「南遊記行」 「洪水図鑑」 など
5 6	大和川 つけか えの運 動	つけかえの必要に気づ き、賛成反対の運動が あったことを知る	・「河内はどうしたらいいか？」 「つけかえしかない！」「300年前にそ う考えた人がいた？本当！」 ・つけかえ運動の経過を年表で調べる ・反対の理由を考え、前者の言い分を調 べる	つけかえ運動の年 表 賛成反対の村 分布図 賛否意見書
7 8 9	つけか え工事	工事の様子を知り浅香 山周辺の苦勞や工夫に 気づく	・どんな道具で工事をしたのかな？ ・立体地図で調べよう 「土町台地は高くて川が流れないから 掘り下げて苦労したんだ」	鋤鎌モッコの給 図工で立体地図作 成
10 11	つけか えの結 果	新旧の川筋に様々な功 罪を残したことを知る	・五重荘や堺にとって、よかったこと困 ったことを調べよう(洪水など) ・旧川筋はどうか？(湯水・舟・錦)	五重荘の大和川 関連年表 堺港の図 新田開発地図
12 14	まとめ と課題		・探検とビデオ視聴 ・現代の開発「高速道路大和川線」	府や住民の会リー フレット

かえ以外に河内を水害から守ることはできな
いと決意し、幕府に納得させていった過程や、
堺の港が埋まるなど、良いことはかりではな
かったこともきちんと話され、印象深いもの
でした。

つけかえの難所となった浅香やゆかりの史
跡、浅香山稻荷神社の探検や大依羅神社と依
羅池跡へのミニ遠足など、楽しい活動も体験
しました。

この学習をすすめるながら、多くの方々に助
けていただいて、「大和川かるた」を作成発
行しました。裏には教材研究になるような解
説もつけ、遊びながら興味を持てるような工
夫をしました。学級の子がみんな絵を描き、
府への人々にも使ってもらっています。

＊前任の新浅香山小学校での実践
(こまつすがお・大阪府堺市立向丘小学校)



中村幸さんの話を聞く。

- ・大阪教育大学 大和川学習を考える勉強会
- ・大和川学講座 教育実践フォーラム
- ・自然史博物館シンポジウムや大和川を歩くシリーズ
- ・大阪歴史博物館友の会 大和川見学会シリーズ
- ・各種文化団体・NPO・生涯教育・カルチャーセンターなどの講座や見学会
- ・堺では、住吉大社「お渡り」復活イベント

4、国の事業・イベントの手法がまだまだ「お役所的」？

10/17 記念式典の形式的なもちかた・莫大な経費。

流域フォーラムは大変充実。事前に内容のPRをし、これを核にすればよかったのでは？
(いかに下りは楽しいが、河川敷のゴミ集め競争は変？)

5、クリーンキャンペーンの充実を

- ・歴史ある川のロマンを、川とふれあう企画でアピール（ボート・いかだ・カヌー・生物観察会・歴史散歩・写生・撮影会・・・）するなど、子どもたち・地域住民のハートにふれ、主体的な意欲をひきだす活動を。

企画の段階から、市民参加・自治体職員との連携したとりくみに。

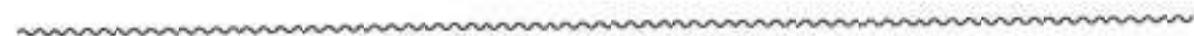
- ・「大和川博士」・・・「きたない川」の強調・住民啓発キャンペーンより、川の魅力を伝え、自覚を育てるものに。

6、「自然再生」の時代

森林保全・まちの河川・農業用水・海浜・農林水産資源・環境汚染対策など・・・省庁・自治体の枠をこえ、市民・研究者と連携したとりくみに。

7、300周年の成果は、新しいスタート地点。

- ・市民・教育関係者の関心はまだ幅広いものとは言えない。
成果を大切に、市民参加のとりくみを重ねて、世論のもりあがりをも。
- ・ぜひ「わたしたちの大和川」の再発行を。（実費で市民にも紹介できないか？）
- ・川の浄化のさしあたりの目標は、遊べる川への復活。子どもたちの夢を育てるとりくみを。
- ・大和川研究ネットワーク・大和川学習館などの課題を追求。
- ・「よみがえれ大和川」各地域でとりくみをひろげたい。



(自己紹介 ^{ごしやう} 五箇荘地域学習～大和川学習のロマンにふれて)

1972年、堺市立五箇荘小に新任。地域の自然や社会・歴史を学ぶおもしろさに目ざめる
五箇荘東小（1977年～）新浅香山小（1988年～）向丘小（1997年～）

- ・1986年度 「五箇荘歴史かるた」作成
- ・1988年度 （堺市初等教育研究会社会科研究授業）立体地図作成。大和川つけかえルートの意味を考える
- ・1993年度 中好幸氏の本「改流ノート」に出会う この年から建設省水生生物観察会に参加
- ・1995年度 4年生と共に「大和川かるた」作成
- ・1997～2000年度 建設省大和川河川環境保全モニター 「わたしたちの大和川」研究会に参加
- ・2002年度 「わたしたちのまち堺」大和川のつけかえの章執筆

大和川かるたによせて

大阪市と堺市の境を流れる大和川の源流は奈良県山辺郡都祁村で、奈良県と大阪府南部の大小一八〇近い川が合流しています。

四年生の社会科学習では、大阪の多くの地域で、大和川のつけかえについて学んでいます。今日の大阪の繁栄には、淀川と大和川の改修・つけかえが大きな役割を果たしているからです。

子ども達は、身近な川が先人達の願いと運動でつけかえられたことを知り、大変おどろきました。大和川のつけかえは一七〇四年、五代將軍綱吉の時代に実現しました。河内平野の村々を洪水から救おうとした、中甚兵衛らの五〇年もの粘り強い運動が実を結んだのです。しかし新しい川によって二地を奪われた人々や、水利に困る村ができたこと、堺の港が砂で埋まり大きな船が入れなくなったことなど、よいことばかりでないことも知りました。

昭和の半ばまで、美しい川の流れる堺市民の水道となり、魚や貝が採れました。大和川に清流を復活し、美しい水辺をとりもどしたいものです。大和川について学習した子ども達が、その願いをこめて、かるたの絵を描きました。大和川の過去と現在を学び、未来を語り合い、夢の実現へ手をとり合ってまいりましょう。

子ども達との学習やかるた作成の過程で、中甚兵衛十代目・中好幸氏と府立大手前高校・彼谷利彬先生の全面協力とご指導をいただきました。新浅香山小学校職員、大和川工事事務所の皆様を始め、多くの方々のご援助、ご協力をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

一九九六年三月

大和川かるた
編集委員会

小松清生
〒五九一 堺市東浅香山町二丁目三八一―一三
電話 (072) 215-0171
95年度堺市立新浅香山小学校四年三組児童



建設省主催大和川クリーンキャンペーン33「大和川テーマ曲」歌詠募集
優秀賞・河川環境管理財団大阪事務所長賞受賞

「大和川」

作詞 小松清生
作曲 生田千晶
イラスト 田村仁美

Allegretto

Musical score for the song "Yodo River". It consists of four staves of music with lyrics written below the notes. The lyrics describe the river's history and the children's hope for its restoration.

1 ふなれもくまやまとうらやま
2 ああなれもくまやまとうらやま
3 ああなれもくまやまとうらやま
4 ああなれもくまやまとうらやま

みなもとは 大和高原 初瀬 飛鳥
いにしえ人の ゆめはこび
歴史をうつした 大和川
青き流れによみがえれ

あれくるう 河内平野の 天井川
和泉へ流して 村すくう
中甚兵衛の 夢みのり
青き流れの 大和川

あゆ泳ぎ かわせみ遊び さぎが舞う
くらしをうつした 大和川
子どもたちの 夢のせて
青き流れに よみがえれ

生き物が声をそろえて 呼びかける
自然を守る 人々の
知恵と力で とりちどそう
青き流れの 大和川

『かるた』でつづる大和川

堺市立向江小学校 小松清生（1949年）

1. 大昔の大和川

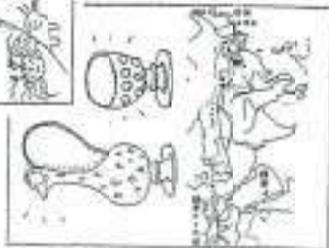


① 阿野川と合流していた大和川

南からの大和川と北からの阿野川が運ぶ土砂によって、河内灘は次第に狭くなり、ついには河内灘、河内平野となりました。江戸時代には、新開池、深野池という大きな池が残り、二つの川は大和川の北で合流し、水脈を大きくしていました。

② 池や池の多い河内平野

七千年くらい前、現在の大阪中河内郡や東大旗、八尾、大東などは池の海で、「河内池」と呼んでいます。淀川や大和川が運ぶ土砂で埋められ、千数百年くらい前には「河内池」さらに江戸時代には池や池の多い河内平野となりました。



2. 河内平野の開発とあばれ川とあたたかい

① 砂運り川 思い天井川

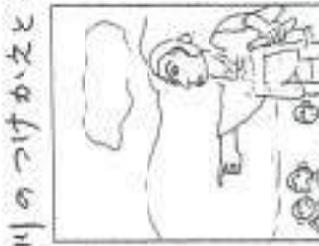
川底に土砂がたまり、周囲の土砂より川底があくなくなった川を天井川と言います。大和川は、土流の木の枕巻が原因で、十七世紀には天井川化が一気に進み、大津になるとこつた水がどつと押し寄せてあふれるあばれ川となっていました。

② ルートはどこへ 知しほる

中世武部は住吉の東の辺りまで何度も進出して、大和川への近道をさぐったようです。石川との合流点から、土地の高さや地形、田畑の様子など、色々な条件を考へて最終的にこのルートが考えられていたことが残された地図で分かります。

③ つぶれ地に 田の村々 穂申す

つけかえ川の運搬の結果、新川が川筋を侵食する度に、新川のために田畑がつぶれる地原、鉾原、太田などの村や、新しい川の洪水を心配する三宅、野所、油上などの村は、結集してつけかえ川の運搬を断行にむけてとりくみました。



3. 大和川のつけかえとその時代

④ その昔 シルクロードの終着点

古代、アジアからシルクロードを経てもたらされた宝物は、正倉院の御物として残されています。中国の港から船で難波の港についた品物は、長尾街道や竹之内街道、あるいは大和川をさかのぼる船に積みかえ、奈良の町まで届けられました。

⑤ 船底に 川原跡 ちらの跡

高井田古墳には、ゴンドラ舟をあそぶ人の絵彫りがあり、川底となった船底も、律令時代の国府（京行に当たる）があった国府と共に旧石器時代から最も栄えた一帯の様です。人や物資が行き交うにさやかな土船だったことでしょう。

⑥ 上町の 古地の 礎に 難波の宮

河内郡の時代、上町古地は町となっていました。北庭の難波の宮から、難波大宮が南へ一直線に伸び、長尾街道、竹之内街道と交わり、奈良につながっていました。今地墓埋場となった大和川今地遺跡で、その跡が確認されています。

⑦ 中世武部 つけかえの夢 実現せむ

今水村（今の東大旗町）の由良平兵衛は、十九才で江戸へ下つた一六五七年から約五〇年、洪水で苦しむ村のつけかえ運動の中心となりました。郡村への重訴と共に、雄断な調度で調子絵や記録を残し、川運えを成功させました。

⑧ 苦しみを くり返す なら 川運え

太古から大和川は洪水をくり返し古代から治せよはみだ者の課題でした。天王寺区河原町は、八世紀に上町台地を開削し、大和川を河内郡の海に注ぎようとする大和郡、藤原氏の進軍の途です。江戸時代、河内の農民の運動が実を結びました。

⑨ 平和な世 幕府が 進める 川運

大和川つけかえの一七〇四年は、元禄元年、五代将軍綱吉の時代です。戦争のなかつた江戸時代の半ば、幕府は農業生産を高めるために科木、治木、新田開墾を基め、一七世紀の科木川つけかえや、流川下流の開削等の大事業を進めました。

4. つけかえのルートなど



⑧ 太田と洗香に千両がかり
「千両がかり」と呼ぶのは、千両の距離でルートを変更させたという噂のためです。しかし土味の高性に対し、腐蝕地を避け、合流する川の湖沼を除き、気配池を土捨て地として利用するなど、色々な製作を考えた結果と思われています。

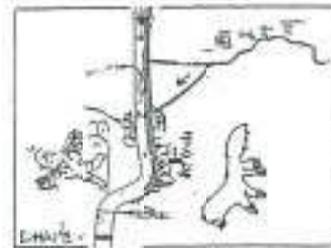
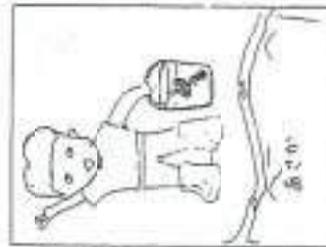
⑨ 西條川 西へつけかえ 浅瀬まで
北に流れていた野瀬川は直野瀬川に拡大させていますが、西條川は逆流や河床侵食を防ぐため、西へつけかえを合流させています。一九八五年の氾濫、野の木宮の後、西條川を常流でショートカットして合流させる、技術が進められました。

⑤ まんなかに川が通じた 依羅池
秋山社と主んで日本書紀に記録されている古い池です。氾濫などのために古墳時代に造られたと伝えられています。大依羅社には、池中置彦が祀られています。北へ流れていた野瀬川はこの時代の部分につけかえられました。

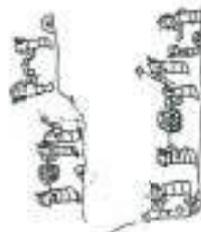
⑥ ゆるやかなカーブを描いて十四キロ
北へ西につ分れていた大和川は、一七〇四年、栗の所に向かつてつけかえられました。二月十六日工事奉行、普請所は、任吉郡洗香村に置かれ、翌々日には新川筋を示す大竹が立てられ、当初は三年の計画で始められています。

⑦ 野瀬川 下流広げて 大和川
現在の五箇荘中宇、合流直後は、築堤された土留めや須賀の橋子から、六世紀後半二〇四近い野瀬川の氾濫を恐れ、同時に用水としての水の神を祀った大依羅社とされています。この古代からの川の下流に大和川を合流させたようです。

② 常盤川 依羅の池を埋めてでき
依羅池のまん中を大和川が貫通し、池の南北の部分の多くは土捨て場として埋められました。北側は地下鉄孫子の駅第一番、今の依羅池が、最後に残っていた池の跡です。駅前は藤井、花田、万原新田、今の市常盤川二・三丁です。



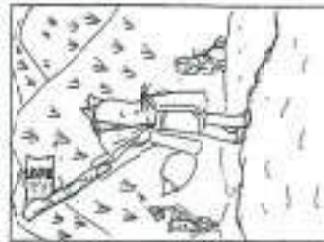
5. つけかえ工事のようすと さつね伝説



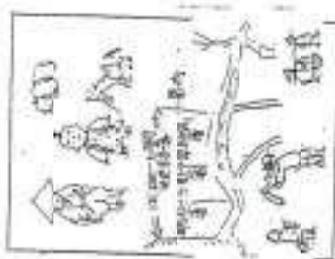
④ 江戸時代 紙と器と土を器る
つけかえ工事は、新しい工法や道具が使われ、当時のトラブレルの技術で進められました。しかし、トラブカもシムベルカもいない時代、すべて人力です。土を器るのは紙や器、器るのはモッコなどです。工事はやはり人海戦線でした。

⑦ 総路 きつねの跡りとコマをたく
平地では氾濫を憚むだけの川筋工事でも、上町台地上にある浅香山一帯では、六世と掘り下げていきました。総路は工事に苦勞し、重土の急死など不幸なことが続き、親を供養して浅香山総路として祀つたと書かれています。

③ 手伝いの大名 工事を分けて持つ
大和川つけかえを命じた幕府は四十分を御奉行に分担させますが、上町台地の開削に苦勞し、幕主が急死するなどの異変が、一か月で原田忠、三田、明石の全隊に発生しました。財閥も人夫の餓死も幕の責に、大変苦勞したようです。



⑤ 親まで 工事助けた 浅香山
浅香山のりのつけかえ工事を担当した総路は、工事の促進を願ってきつねの供養をし、寛れはてしていた浅香山総路を祀りました。これを聞いて、きつねたちが人夫に代けて工事を手伝つたという伝説が残っています。



② 労働は 百延廻り出し 八ヶ月
つけかえ工事奉行は一七〇四年二月、完成は十月です。工事費用は金七一五〇二兩余り(約二四三億円)、一日二万人、のべ二四〇万人以上が働いたそうです。一八〇m、長さ一四kmの工事をやりとげた労働の激しさがしのばれます。

① 野瀬には 川口奉行の 千水鉢
浅香山御奉行には、つけかえ工事奉行であった大久保大膳宗忠の御祈した石灯籠や、川口奉行松平氏も三人が奉納した千水鉢があります。昭和の初め、廻りは風がたたくさん住む松林で、町人が千水鉢をとり、小学生が満足に歩きました。

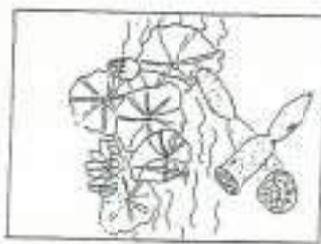
6. つけかえの影響 (その1)



④ 村人と氏神隔てる大和川
大和川は元々大和の氏神ですが川によって村が分断されました。今も大和川から続く大和の象徴があり、本流は水事のため湧き出しますが、雨降ると本流があつた場所には大和が流れてきます。現在の本流は、大和川に流れてきています。

③ 念仏の語り伝える八尾の村
取水が難しくなった田原郡三好村の庄屋原田村町右衛門は、大和川から用水路を引きたいと願い出すが外されず、夢野に黙って水門を造りました。打ち損にされた念仏をしのび、念や太鼓で念仏を唱える語りが、三好に伝わっています。

⑤ 東水も河内の名産 野池
河内東部の池や池では、門前など昔の東水から東水が流れてきた。現在は池もなく、大阪市場では東水産の魚が多数です。大和川には長さ100mの堤防があり、水はけが悪く一九二三年の大東水害で、水との戦いが続いています。



④ 大和川 神楽も流る板の阪
界から住吉大社に参拝する船中御事が、大和川に流れてつけかえ工事完成前に、大和川が受け取りました。御事への神楽を流す受け取り台もあつたそうです。現在まで、大和川にはこの御事が流れてきました。

④ 利先船 荷物運んで西東
本流、大和川、大和川や干渉などの船や船を運ぶ貨物運送船として、利先船や利先船(部分船)がありました。一二三六一年、本流運送船として船長は船長で、大和川つけかえ後も来ますが、利先船で、明治末に廃止されました。



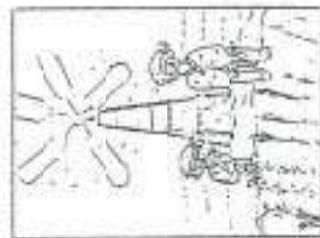
④ 大和川 原野がまる大和川
大和川は、大和川の田原郡を貫き、近鉄大和川の山本、大和川は田原郡に流れています。大和川は田原郡より高く水はけが良かったため、大和川が高水位住宅として建設されています。



8 (その3) 堺への影響



⑤ 三好の砂地に育つ 三好三好
大和川つけかえの頃、川が急激に増え、川に土地が広がり、三好三好に増え、山本等の新田(家の三好三好)が建設されました。かつては風車が立ち、現在も三好三好に育つ三好三好、三好三好、三好三好が建設されています。



④ 堺には 堺の水産 堺市
つづきの通り抜けて有名な、堺市、堺市が流れたのは、明治四三年(一九一〇年)、大和川の水を浄化して堺市に配水しました。しかし一九七八年に、水の汚れのため配水をストップ。その後は大和川の水の配水場となっています。

⑤ 水産の苦しみ 堺市の 堺市まで
大和川つけかえの頃、堺方面での水産が減少しています。現在も水産が減少しています。大和川の水が減少したため、水産の減少が生まれ、一九八二年に水産、堺市、堺市で水産が減少しました。

④ 堺市 堺市埋めた大和川
大和川つけかえの二四年後、堺に大和川が流れます。大和川の水を運び入れる大和川は、川口に新田を築いただけでなく、堺市も埋めました。大和川は、堺市に流れて一七九五年、堺市が埋められますが、堺市にも土砂は埋められました。

④ 徳川 河内 本流は 全国に
大和川はつけかえで田原郡は田原郡になりましたが、堺市では水産は減少し、水産が減少になりました。河内本流は、水産は減少を生み出し、八尾、大和川などの本流地帯から、大和川、大和川、大和川に流れて、全国に広がりました。



④ 新田の 新田 新田 新田
つけかえの頃、田原郡や堺を建設する住居は、財力のある商人たちが建設しました。大和川市には今も新田新田新田が建設されています。大和川市に流れて、大和川市の新田新田の建設が減少され、現在の大和川市の建設も減少しました。

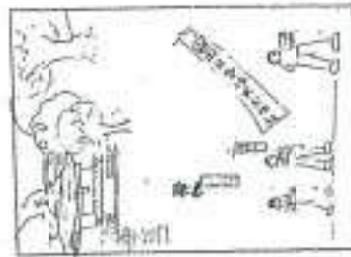


9. 今の太和川

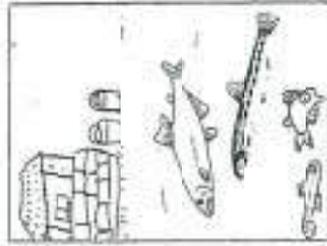
⑬ 本流と支流を合わせて百八十
郡の太和川の支流は約百八十と言われ、奈良県北部の川はほとんど、河内や和歌山の大小の川の水が合流しています。大阪と奈良の境にある、金剛山や二上山、伊賀山などは、奈良県、大阪府に流れた水が西の太和川に合流しています。



⑭ 建てた村の祭はにぎやかに
祭りの村、奈良県山辺郡葛城村では、北の川の水は淀川へ、南側の水は大和川へと流れる分水嶺にもなっています。また、静かな郡分水神社や、千早郡の分水神社なども、祭りの日には、集まると、村人が祭りで祭を楽しみます。



⑮ 田や畑の水を減らした鮎どじょう
五〇年代くらいまで、狭山池から流れる熊川の高末にあたる五箇荘でも、川やたぬ池、水路が村の中や田畑をくまなくめぐり、大和川には鮎、鰻、鯉、小川や水路にも鮎、ボラ、ハス、ハゼ、ドジョウなどがたくさんいたそうです。



⑯ 川の瀬の岩にぶつかる水しずき
奈良県北部の水は、生駒、金剛山地の険しい谷間、龍の瀬を流れて大阪に入ります。川の中に龍の背のような岩が目につきます。一九三二年にも地すべりで浸水被害を出し、国鉄線路をつげかえており、今も災害対策の重点地区です。

10. よみがえれ太和川

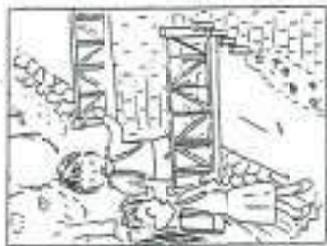
⑰ 清流にカワセミ遊びサギも舞え
清流の小魚を好んで食べるカワセミは、サギなどに餌を作っています。美しい藍色の鳥が五〇年代まで清流全体に見られたようです。普通シラサギと呼んでいますが、白なサギは「ゴサギ」で、八〇年頃から流石にも飛んでいます。



⑱ ランドセル笑顔が似合う町の川
八、旭市山本小学校前の玉串川の桜並木は、大阪府の自然に指定されています。大阪市住之江区の十三間川も、一九七七年から大和川の自然環境水をくみ上げ処理し、憩いの場にしてはいますが、阪神高速の下で、騒音や空気の悪影響が気になります。



⑲ 水遊びはトホボ子とちもつれいな
トンボは、きれいな川や池、田で羽を乾かす。ヤゴからトンボとなつて飛んでいきます。今も大和川では、四年かかつて成虫になるオニヤンマのヤゴが観察されています。サワガニなど、きれいな水を好む生物が住む環境に戻したいものです。



⑳ チヌ・スズキ川が育む海の幸
潮干瀬になると、海水と共に海の水も川を上って来ます。海水と淡水の差による河口は魚の宝庫です。鮎池上菜畑の間伐で薪手を受けた大阪漁業も、少しずつ回復し、スズキ、ウナギ、タコ、ボラ、チヌ、カレイ、アナゴ等がとれています。

㉑ 遊ぼうよ水辺の自然とお日様と
一九九〇年建設省は、「五年で水遊びのできる川に」というアタリロード大和川計画を発表しました。下水道の普及、水質の浄化、ボート、憩いの人工環境などの努力もしていますが、まだワースト20の河川は選ばれていません。

3 女子会の園をつくらう

大阪府堺市の大和川河口にある、堺第1-3区というのよき内庭で、石組みの堤防のすき間に海水が入りし、しだいに海水がきれいになって、魚や鳥がたくさんやってくる地域ができました。そこで、この地の発展に、つりやおひらが、海が好きな子どもたちを公園をつくらうと「なごき公園をつくら会」の活動が始まりました。



「なごき公園をつくら会」の活動が盛んに行われています。

「なごき公園をつくら会」の活動が盛んに行われています。



「なごき公園をつくら会」の活動が盛んに行われています。

●作成の過程で感じたことや成果など

- ・「わたしたちの大和川研究会」は、小学校現場からは私一人、つねに緊張感のある会合だったが、対等な扱いをもらった。
- ・奈良、大阪の先生方との話し合いは初めてのことでとてもよかった。
- ・中好幸氏の大きな期待と、全面的な協力を得て、「大和川つけかえ」の歴史を考えるよい教材づくりができたのではない。

・作成の過程で見ていただいた先生方や子どもたちの期待が大きく、意義を確認できた。

・作業は大変ハードだったが、改めて学習したことも多く、楽しく充実した日々だった。

・「資料集」には、「よみがえれ大和川」の実践や、堺市で検討中の指導案、大和川学習のための立体地図、「大和川かるた」のマップ、解説、「大和川」の歌も掲載された。

「わたしたちの大和川」制作の様子。

川かるた」のマップ、解説、「大和川」の歌も掲載された。

●今後の課題

- ・大和川にかかわる教育のとりくみと交流。
- ・「わたしたちの大和川研究会」の発展（本は、今年再発行、再配布され、今回限り）。
- ・小学校三・四年生のための副読本「わたしたちのまち」改訂での努力、現場と子どもとの連携に合い、社会科の基礎学力を大事にしたものに。
- ・大和川つけかえの歴史研究を正しく展開させるとりくみ（つけかえ三〇年記念碑には開通した歴史が刻まれ、今も課題が多い）。
- ・「よみがえれ大和川」を願う皆さんとのネットワークの拡大、教育実践の立場と、住民としての願いと行動、行政と住民、研究者との協力関係の発展。
- ・大阪府教員小学校部会の「淀川」教材づくりへの協力。
- ・二〇〇四年、大和川つけかえ三〇年を有意義に、大和川資料館づくりの夢も追求。
- ・「わたしたちの大和川」を必要方は大和川（河川）事務所、河川環境課（電話〇七三九・七二・一三六）、FAX〇七三九・七三・三九六七）へ。（CORRにたいこまです）
- ・ごまごまがね、大阪府堺市立西区小学校

酒田は岡田合で築く高田村夫さんの話
大和川の河口から数100mのところまで、川と海の水がまざっている。ここで、魚が育つので、大和川がきれいなところ、どなたにもええやろう。今でも、河口でかき取りのシラス（かき取りの手どし）もセーター、神岡島の長巻（ながまき）もセーター、おさけは大人気です。堺市の海産物、何でも売られて、水産物や漬物（お漬物）をふくんだお漬物、無料理の海産物がたちらちらちら、にぎやかでした。



酒田合で築く高田村夫さんの話
大和川の河口から数100mのところまで、川と海の水がまざっている。ここで、魚が育つので、大和川がきれいなところ、どなたにもええやろう。今でも、河口でかき取りのシラス（かき取りの手どし）もセーター、神岡島の長巻（ながまき）もセーター、おさけは大人気です。堺市の海産物、何でも売られて、水産物や漬物（お漬物）をふくんだお漬物、無料理の海産物がたちらちらちら、にぎやかでした。

「わたしたちの大和川」制作の様子。

ルにしない。副読本の採用、活用は各校・学年・学級担任が主体的に行うもの。魅力的な内容で普及したい。

・中好幸氏をはじめ、川にかかわる皆さん方に協力していただき、その方々が納得できる文や図、写真としたい（中好幸氏は、これまでの苦い経験から「副読本には著作権は無いのですか」と嘆かれていた）。

・これまでのとりくみやつながりを生かし、市民・専門家に

登壇してもらう（中さん、堺島瀬橋協、高田さん、なごき公園をつくる会、まほうの石、つくりなど）。

・幅広い方々に見てもらい、内容や文、図や写真をきめて、親しみやすくよいものに。

・正確な表現の努力、わかりやすい言葉づかい、図面の色合いなども細かくチェック。

●「わたしたちの大和川」のちくし

ようこそ大和川ランドへ 1大和川のすがた 2大和川と地域のちゆみ 3大和川を治める 4今も続く水とのたたか

い 5くらしをささめる大和川 6大和川の自然と生き物 7清流をとりもごそう 8豊かな水辺をめざして

●修正意見や図面づくりでの努力反映の例

- ・「川の水が汚れる原因」について、正の原稿には「川の水をよごしているのはだれてしまうか。それはわたしたちです」という文があった。
- ・「住民のマナーの悪さのために大和川が汚れているのだ」という住民責任論は納得できない。慎重な話し合いで一致点を見つけ、都市化や大和川の特性などを考えていけるような文に書き換えてもらった。
- ・「交通路としての大和川」では、難波大橋、長尾街道、竹内街道などの官道整備と大和川の役割を記述、見やすい図面を作成。大和川運行の船に、田原船の資料を追加。
- ・淡香山付近のようすの図面——よさみ港の西端に西除川をつけかえ、大和川は池のまん中を通っていることなどがわかるようにした。
- ・川のつけかえでできた新田の図面では、大規模な新田だけでなく、東除川、西除川、大草川、よさみ池跡もかきこんだ初めてのものができた。
- ・堺の港の移り変わりの図面——港の通りかえが六回もあったという中井正弘先生の研究を生かし、同方向の略図で港の変化や新田の造成がわかるように工夫。

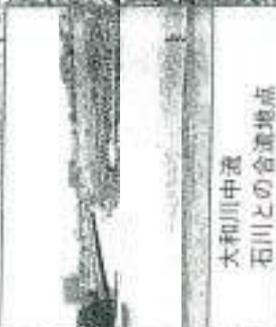
大和川のつけかえ

かいほう
～大阪の開発～

「わたしたちのまちが
(2003.4)より

大和川ってどんな川だろう。

兵庫の海



大和川中流
石川との合流地点

大きな川だね。
どこから流れてく
るのが調べよう。

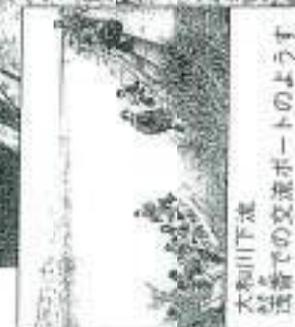


源流
都祁村の
水分（みくまり）神社

上町台地が
ぐんとのび
て海水が入
りにくくな
ったのかな。



よど川と大和
川が土や砂を
はこんで、海
がうまってい
ったんだって。



大和川下流
琵琶湖での交流ポイントのように

大和川流域
かった雨が大和川に
流れこむ地域



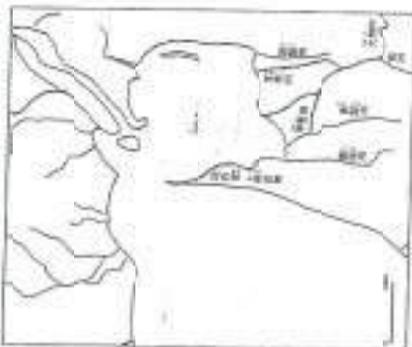
龍馬川

大和川は、昔から堺市の北
がわを流れていたのではな
いそうです。いっぴんなわ
けがあったのでしようか。
今から調べていきましよう。

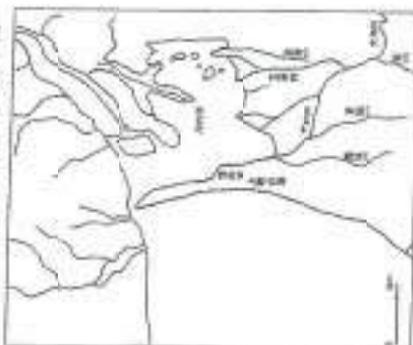
1 大昔の大和川

ずっと昔の大阪平野の地図で調べ
てみましょう。

①5000～4000年前の大坂平野



②1800～1600年前の大坂平野



2 昔の大和川 — 310年ほど前の大坂 —

昔の大和川の川すじ (江戸時代のはじめのころ)

大昔の地図とくらべてみましょう。

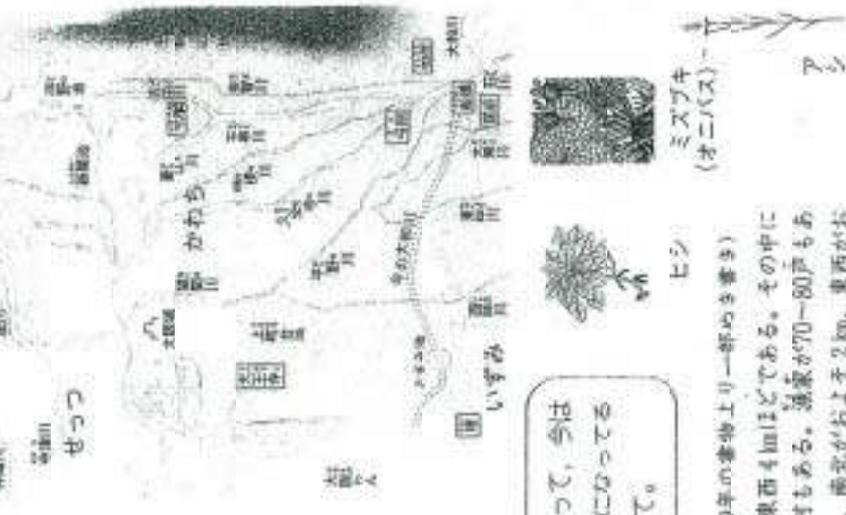
大和川はどこへちがれているのかな。

このころのようすを書いた本で、人々のくらしをそうぞうしてみましよう。

深野池って、今は大泉市になってるんだって。

「尚志紀行」白藤益軒 (1689年の書物上り一部ぬき書き)
深野池の広さは、南北8町、東西4町ほどである。その中に島があって、「三箇」という村もある。湯家が70-80戸もあって、田畑もある。この島は、南北がおよそ2町、東西がおよそ600mである。

この池には、コイ、フナ、ナマズ、エビ、ウナギなどがたくさんいてそれをとる舟も多い。とった魚は、大坂へ売る。ハス(れんこん)、ミズブネ、アシなども多く、とって生活の助けとしている。なかでも、ヒシの実がもっとも多く、ごはんや、だんご、おかゆなどにして食べている。
この島から湯神は舟にのって陸にわたり、田をたがやしたりもしている。(わかりやすく書き進めています)



オニバス (オニバス) - ミズブキ

アシ



ナマズ



スジエビ

(1) 川ぞいの人々の苦しみ

大和川の水害年表

年	できごと
1563	8日間雨がふりつづき、大和川でこら水。16000人が死ぬ。
1608	風と雨強く、河内・摂津にこら水。
1620	大和川・船場村で堤防される。田に大ひがひ。
1633	柏原・船橋・福府村で堤防される。
1635	柏原・船橋・調府・号前村で堤防される。
1638	吉田川の堤防される。
1650	八尾木村で堤防される。
1652	吉田川の堤防される。
1674	吉田川入り口堤防がつぶれ、大和川の流れがかわる。五津・釜立・吉田川と深野・新開池で堤防35か所される。
1675	五津・釜立・吉田川と深野・新開池で堤防19か所される。食べ物がなくて人が5万人?大和川の流れがすべて大坂前となる。
1676	五津川・釜立川・吉田川と深野・新開池で堤防される。
1681	五津川・釜立川・吉田川で堤防される。
1683	五津川・釜立川・葛川・又宝寺川の堤防される。
1686	今米村、2年続きの水害。
1701	

中好幸氏 大和川洪水治水関連年表より

(2) 河内をすくえ!

この時代の農民は、土地をはなれて引っこしする自由がありませんでした。人々は、いのちとくらしを守るために、どうしたのでしょうか。みなさんもかんがえてみましょう。



江戸時代の本「洪水図説」より

家や田畑が流されている。



流されて死ぬ人や、食べ物がなくて死ぬ人いっぱいだよ。



125ページの地図で、水害にめつた村にしるしをつけてみましょう。

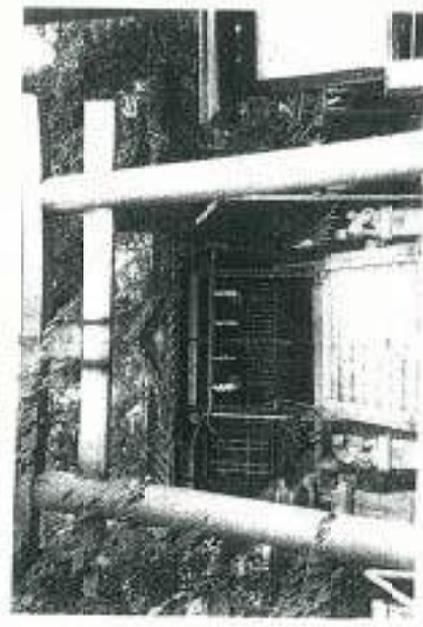


大井川のよつす

(1) 浅香山では

浅香のあたりは、川をはる工事だったので、とても苦労したそうです。浅香山稲荷神社には、こんな話が伝えられています。

幕府から工事の命令を受けた姫路藩は、370人の指揮者を決めて工事を始めた。しかし、浅香山をはる工事がなかなかすすまず、中でもきつね塚の苗では、クワを入れると手や足がしびれるというふしぎなことがおこる。こわがって工事をやめてしまおう人が出たり、藩の殿様が急死してしまったりして、「みなきつねのたたりだ」とおそれられた。そこで川を少しまげてきつね塚をさげ、浅香山稲荷できつねの供養をした。すると、きつねたちが人夫に化けて工事を助けてくれた。



浅香山稲荷神社

どの様子が死んだので姫路藩は帰ってしまいい、新しく明石、三田、岸和田の3つの藩に命をさしたんだって。



浅香山って、今はひくい丘の上に乗がたっているそうだよ。



堤防をつくって川を流すだけの工事より、川をさげようばいいよ。へんなんだなあ。

6 大和川つけかえのあと — もとの川すじ —

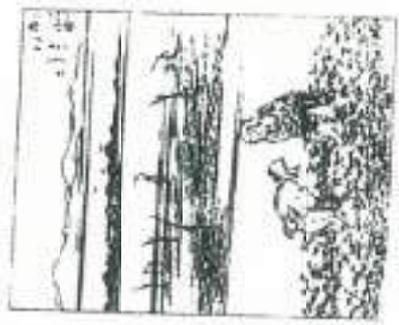
もとの川や池のあとに、たくさんの新田がつくられました。新田の開発には、多くのお金や人手がいるため、大商人がうけおってすすめました。川のおとは砂地のため、米よりわたり作りにおいでしました。わたから「河内木綿」というじょうぶな布や着物がつくられ、有名になりました。

大和川のつけかえは、農民のくらしを守っただけでなく、大坂のまちを豊てんさせらるきにもなると言えそうです。



わたの葉

川あとにつくられた新田



江戸時代の本にかかれたわた畑のようす

7 つげかえのあと — 新しい川すじ —

新しい大和川の南がわの村では、川底になった土地のかわりにもらった土地が遠くて手ばなす人もいました。北がわの村では、水不足でこまるところもありました。つげかえ後のこう水についても、年表でしらべてみましょう。

つげかえ後のこう水年表

年	できごと
1716	柏原で堤防がされ、田に大被害。
1718	堺で大和川こう水。市内が水につかり、大和橋がこわれる。
1737	土砂がつもった大和川河口にはじめて新田ができる。
1740	大和川があふれ、堺市内しん水。
1775	柏原でこう水。
1801	堺で大和川の堤防がされ、まちや新田がひびく。
1804	堺で大和川の堤防がされ、まちや新田がひびく。大和橋がこわれる。
1808	大和川大坂がわの堤防がされ、安立町で家が流れる。
1805	よど川、大和川のたこり水。大阪で大被害。
1806	大和川の枯水、雷田、住道堤防、石川堤防がされる。
1803	大和川、西除川、東除川で堤防がくずれ、道や橋が壊れる。
1813	堺で大和川のこう水。市内でしん水。
1817	石川堤防される。早野川はんらん。
1831	大和川、亀の瀬で地すべり。大和川をせきとめ、正寄町でしん水。
1882	西除川でこう水。堺市の北部と松原市でしん水。

(中好幸氏 大和川洪水治水関連年表より)

ときわ町の友だちのお父さんが子どもの時、西線川があふれて、ふとんも寝具も水につかっていたへんだったらしいよ。



橋も流れたん

だった。



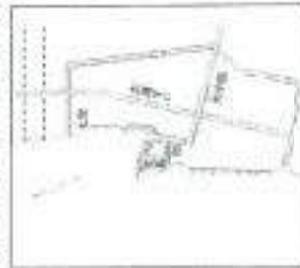
1982年8月の高津川水害

(山形省駅の近く)

8 大和川のつげかえと堺

新しい川は、大雨がふるたびにたくさんのお砂を河口にはこびました。そのために土地が広がりました。新田がつくられていきましました。また堺のまちをかこんでいた土居川の水が流れにくくなり、内川がつくられました。昔からさかえかえていた堺の港も土砂のためにあさくなり、大きな船が入れなくなりました。そのため、江戸時代にも回も港をつくりかえていきました。

堺の港のうづりかわり



1692年

(つげかえの頃)

1707年ごろ

(つげかえから3年)

1885年ごろ

(つげかえから187年)

中好幸さんから

お母の子どもたちへのメッセージ



中甚兵衛は私の9代前の先祖

です。江戸時代に幕府にねがい

ごとをするのは命がけです。甚兵衛は、こう水

になった川のように新しい川すじについてしらすべ、ていねいな

地図やしりょうを作りしました。たくさんの人や村をすくった大きな

仕事ですが、そのために困った人たちがいたこともわすれては

いけないと思っています。

中さんの家に伝わる甚兵衛の陣羽織

「大和川の付け替えと土居川の変化」

大和川は、奈良盆地の水を集め大阪に流れ、柏原で河内長野方面からくる石川と合流し、昔の大和川はこの地点から北方向へ流れて、大阪城の北で淀川に合流していました。しかし、大雨のたびに河内平野（今の大阪市・東大阪市・八尾市）では水がみだれて田や家が流されるなど、大きな洪水の被害が出ていました。そこで今から約300年まえの1704年にその地域の洪水を防ぐため、西の堺に向け川の付け替えをしました。それが現在の大和川です。

堺の港は、日本中の大小の船がたくさん出入りする、にぎやかな港でした。しかし付け替え後の大和川は多量の土砂を運び、港は浅くなって大きな船の出入りができなくなりました。海岸もだんだんと土砂で埋まり、河口には、新しい土地（南島新田や松屋新田など）ができました。

港や海岸が埋まったことから、土居川の水が海へ流れなくなったため、昔の海岸線ぞいに壕を掘っていきました。これが現在の「内川」です。こうして土居川と内川はつながり、堺の四方を囲む形の環濠（かんごう）となりました。

しかし、堺の人々の土砂との戦いは続き、港を何度もつくり直したり、内川・土居川も毎年のように浚（しゅん）溝（こう）をする必要がありました。



〈堺の港の移り変わり 「わたしたちの大和川」より〉

「戦後堺の復興と土居川の流れ」

第2次世界大戦では空襲により焼け野原になった堺ですが、戦後の復興で新しいまちづくりが進められました。しかしその頃には物資を運ぶ方法も水上から陸上輸送にかわり、川は利用されなくなりました。道路網の整備とともに昭和40年代はじめには四方を囲む内川・土居川のうち、北側と東側は埋められて道路になりました。また、急激な人口増加や産業の発展により、工場廃水や生活廃水が大量に流れ込むようになり、川の水は真っ黒に汚れ、ヘドコがたまり悪臭がする川となりました。人々もそのような川に背を向けてゴミを捨てるようになり、魚などの生物も住めなくなってしまいました。



布屋堀跡
（内川）成島付近 昭和初期



土居川と長人町
（東之町付近 昭和初期）

（堺市史資料 写真編より 堺市立中央図書館蔵）

「わたしたちの川 内川・土居川」 (2003) 二)

民衆史の足跡をたどる⑮

大和川付け替えから三百年



柏原市築留つぎどめの中甚兵衛像 2004・1

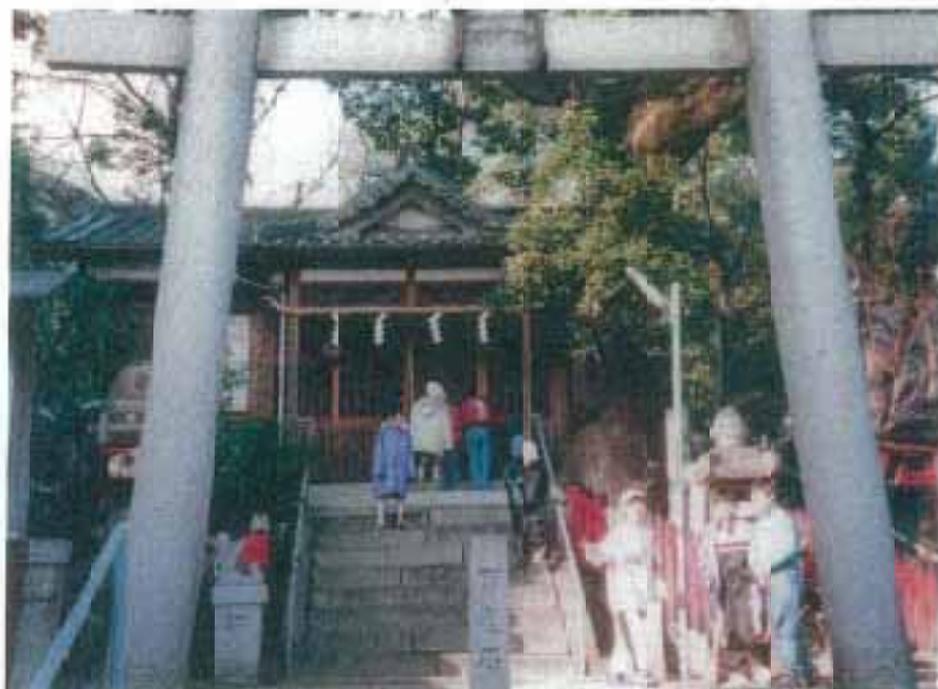
文・写真 小松清生すがお

大和川は太古の河内湾跡を流れ、淀川と合流していた。大雨のたび河内に水害をもたらしていた大和川が、柏原から西につけかえられて三百年になった。

河内郡今米の中甚兵衛が、大和川つけかえを訴えてから四六年。付け替え検分のたびに、新川筋とされた村々も迷惑の訴えをしている。その間にも、大和川は天井川化をすすめた。

幕府が付け替えを決めたのは、河内と大坂の水禍を防ぎ、日川筋や池跡を開発すれば、幕府にも大きな利益となると判断したためであろう。

付け替え事業は、元禄一七年（宝永元年）二月着工、姫路藩本多忠国が河口から、遅れて幕府が柏原から工事を進めた。多くは堤防を築くだけであったが、瓜破や現在の堺市東部辺りでは、川底を掘り下けている。その工事が他地域より苦労したのは当然であったろう。その最中に姫路藩主が死亡したことまで、狐の祟りとされたらしい。浅香山稻荷神社に



浅香山稲荷神社 (JR浅香駅東) 1995・12

は、狐を伏養したおかげで、工事が促進されたという伝説がある。神社の狭い境内に、川口奉行寄進の手水鉢や川邊普請奉行大久保甚兵衛寄進の灯籠が残っている。

姫路藩が撤退した後、幕府は明石・三田・岸和田の各藩に御手伝普請を命じた。結果的には、三つの藩が競い合って予定より早く八ヶ月で竣工させたと言われている。当時の大坂が、土木事業などの町人請負のシステムをもち、業者の人夫の雇い入れを依頼し、監督するのが奉行や藩の普請担当者の仕事であったらしい。

「堺住吉祭礼図屏風」には、「堺の住吉さん」と呼ばれた大和川つけかえ前の堺の賑わいが描かれている。土居に囲まれた堺の北の川は狭間川と思われる。大和川はこの流れに合流してつけかえられた。

一四キロメートルの新川にただ一つかけられたのが紀州街道の大和橋である。住吉大社の神輿が橋の上と下をお渡しし、紀州藩の参勤交代の行列も渡った。突然やってきた川によって分断された村もある。遠里小野や川辺は、今も川の南北に地名を残している。五箇荘は、氏神の大依羅神社が川の北側に分断され、南からの立派な参道がそのおもかげを残している。五箇荘の地名は堺市内だけに残っているが、織田信長が丹南から鉄砲鍛冶を移動させた所は「五箇荘我孫子」であった。



おおよそ
大依羅神社南の依網池跡 1995・12 (大和川はよみ池の真中に
つづけられた)

「利よりも害 港つぶした 大和川」と『堺かるた』
 (堺文化観光協会発行) が書いたように、長らく
 大和川は、堺の厄介物扱いされてきた。実際、水害
 が新川筋に移り、川が運ぶ土砂で、中世の繁栄を誇
 った堺の港が埋められていく。

中井正弘氏の研究によると、港の改築・改修は六
 回以上行われ、中でも一七九〇年〜九八年、吉川依
 右衛門による港の修築は、庶民総動員の「砂持興業」
 という大イベントであったという。現在の堺旧港は
 一八五五年(安政2)北湾戸開削で完成したもので
 ある。この間、堺の町衆は港の修築に奔走しつつ、
 新地を開き、「ウォーターフロント」を開発した。

河口には新田が開かれていく。一七五〇年代、宝
 暦年間に、南島新田・松屋新田・山本新田が開かれ、
 現在の「三宝」の地名となっている。田守神社や月
 洲(元は附洲)神社は、その鎮守社である。堤防直
 下の田守神社には波除不動が祀られ、小作争議和解
 の碑があり、新田地域の悲劇や苦勞がしのばれる。
 若者たちが力比べをした「力石」もたくさん残され
 ている。三宝地域は、一九三四年(昭和九)室戸台
 風と一九四五年堺空襲でも、多くの犠牲者を出した。



田守神社（松原町）2004・11 右手奥に波除不動と小作争籠和解の碑

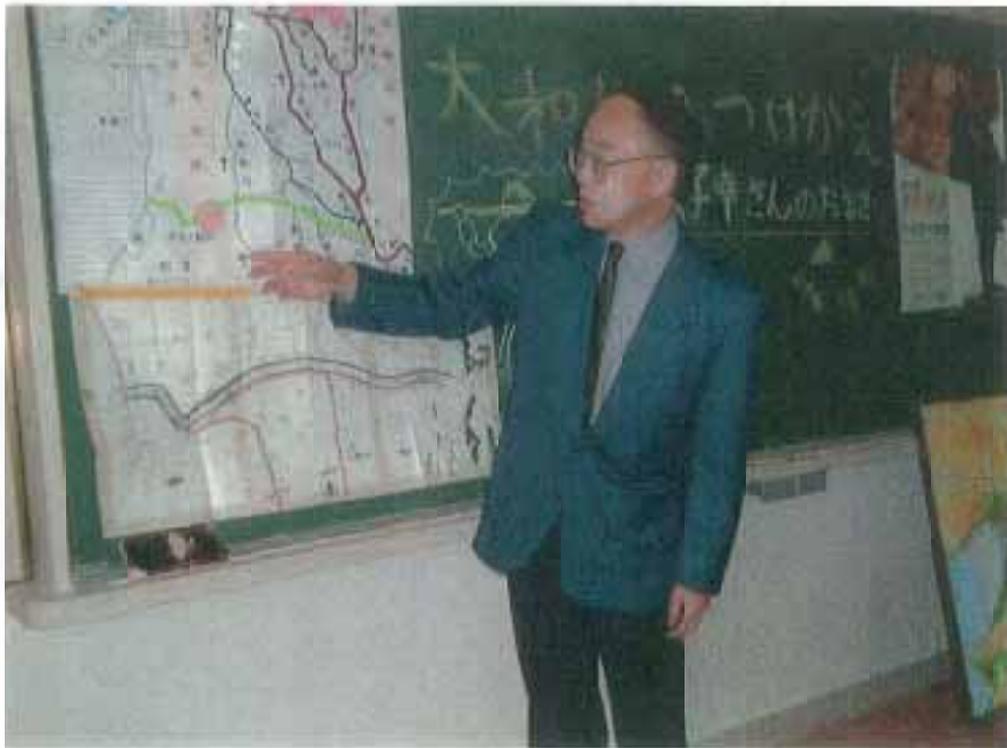


十輪院（九間町）室戸台風殉難教員・児童慰霊碑 2004・11

「一級河川で『ワースト1』を競う川となって久しい。しかし、大阪中の四年生が社会科で淀川や大和川について学ぶ。河川法が改正され、環境と住民参加をキーワードに川づくりがすすめられようとしている。堺の漁師さんたちは、海と川の再生を一体のものとして奮闘されている。」

この一年、国土交通省大和川河川事務所や関係市等が参加して、「大和川つけかえ三百周年記念事業」がにぎやかにくり広げられた。堺市では、歴史パネル巡回展示やフォーラム、市内四年生全員アンケートや、小学生との共同企画「大和川子どもまつり」にとりくんだ。人々が憩い、遊べる川、幸をもたらす川をとりもどす契機としたい。

大阪歴史博物館友の会は柏原・八尾・東大阪・四條畷・大東・堺など、新旧大和川筋見学会にとりくんだ。仲間に入れてもらって学びつつ、二五〇周年記念事業で間違っても刻まれた歴史の是正を訴えた。この秋、東大阪市今米公園の中表兵衛翁碑前の説明板の書き換えが実現した。一歩前進と喜んでいる。「三百周年」の成果を引き継ぎ、新しい川の歴史を刻みたい。



堺市岡丘小4年生に講演 中九兵衛（好幸）氏 2002・10

東大阪市今米 中甚兵衛生家跡 (石垣が残っている) 2004・3



寝屋川治水緑地広場・ふこりのいけ深野池跡 2004・4

河内木綿を伝える

2002・12 八尾市山本コキセン
寺尾和一郎さん遺作展で



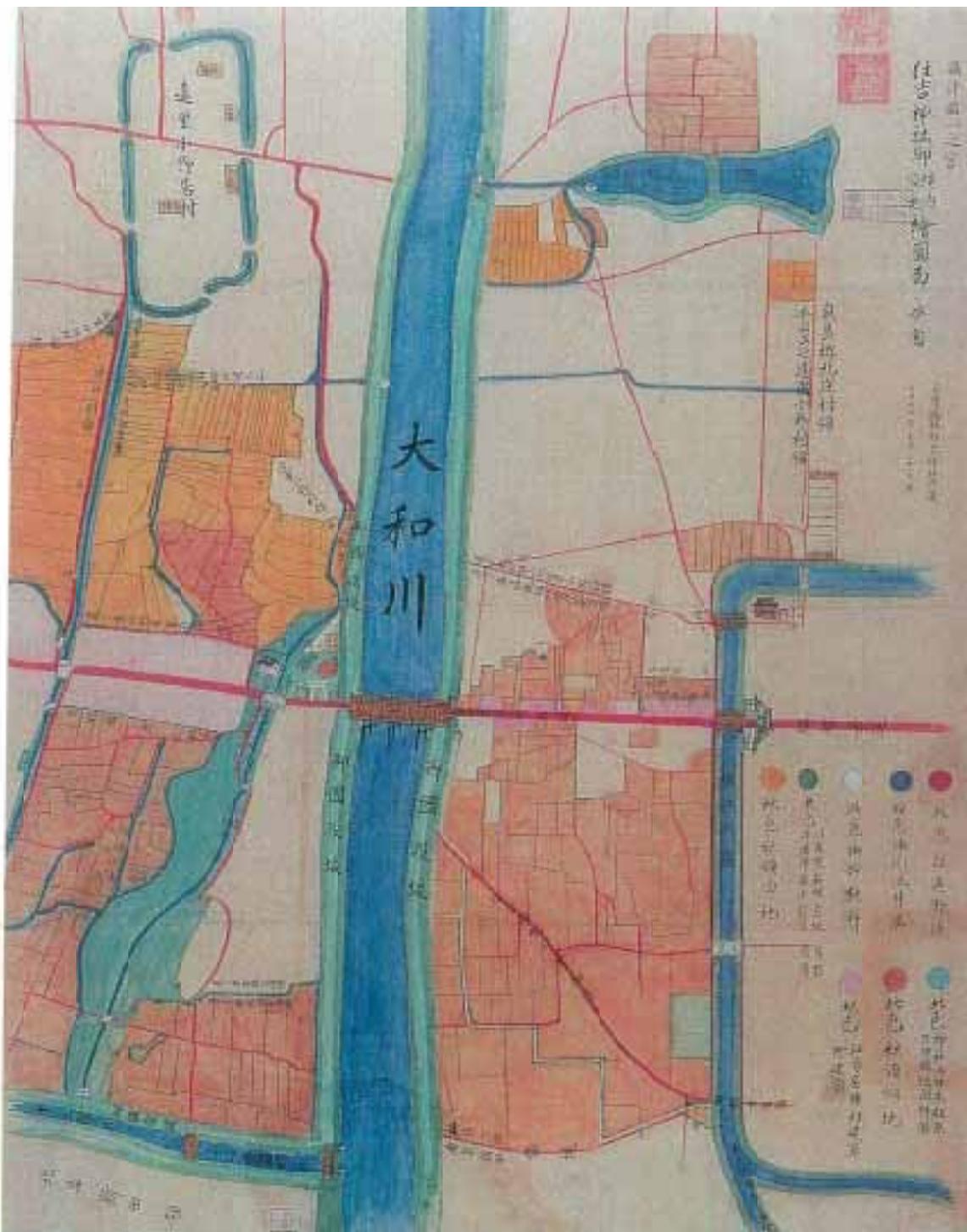
日大和川・玉串川右岸の堤防と遺地が残る
ふのあがたぬしじんじや
八尾御野縣主神社 2004・2
つるあしき
(南の都留美鳩神社には左岸堤防跡)



堺市浅香で交流ボート 2000・3

中央筆者・榎田敏代さん撮影

企画展 堺と新大和川



堺第一之宮土御神社境内景地
純正図抄写(堺市DPH中岡重雄蔵)

会期 平成16年12月4日(土)～平成17年1月30日(日)

9時30分～17時15分(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始
(12月6日・13・20・24・27～31日、1月1～5・11・17・24日)

観覧料 一般200円(160円)・高大生100円(70円)・小中生50円(30円)(常設展を含む)
()内は20人以上の団体料金
65歳以上の方、障害者の方(要証明) 堺市内在住・在学の小中学生は無料

堺市博物館

〒590-0802 大阪府堺市百舌鳥夕暮町2丁目 大仙公園内

TEL 072-245-6201 FAX 072-245-6263

パレ・ミュージアム TEL 072-244-9898 (博物館の備しをご案内します)

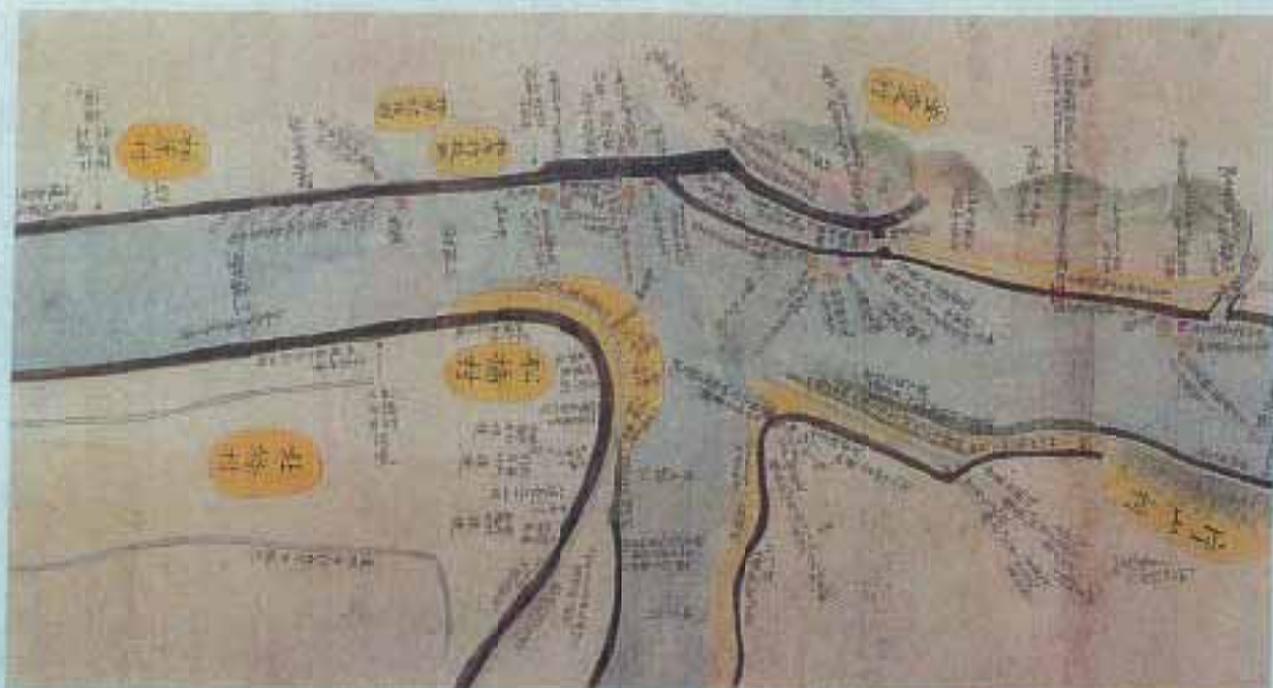
講演会 12月12日(日)午後2時から
「江戸時代における新大和川の支配」 大阪大学文学部教授 村田 路 人 氏
「堺市博物館蔵大和川高田巻について」 堺市博物館研究員 矢内 一 郎
入館者対象(入館料の他に資料代180円が必要)

展示期間 12月5日(日)、1月16日(日)・30日(日) 午後3時から30分程度

堺市パレミュージアム
TEL 072-244-9898



●JR阪和線 百舌鳥駅
(新大塚駅から約50分、関西空港駅から約40分) 徒歩8分
●南海バス 堺市博物館前
(南海高野線堺駅南口遊園地から約23分) 徒歩4分



「大和川流域」18世紀後半・付け替え付近・部分（出典）



「付け替え付近空撮（左が右川、上が大和川）」
（国土交通省国土院地方整備局大和川（西川）事務所提供）



「付け替え付近、大和川左岸よりの堰を望む」
（国土交通省国土院地方整備局大和川（西川）事務所提供）

開催趣旨

2004年は大和川付け替えから、300年にあたる年です。奈良県から大阪府へ流れる一級河川大和川は、1704年の付け替え工事により、流路を北から南へと変え、付け替え後の新大和川は堺の北方を通って、大阪湾へ注ぐようになりました。堺の歴史における付け替え工事の意義は、歴史的関係の深い住吉地域との地理的分断、港の土砂堆積や河川洪水の発生などマイナス面のみがとりあげられてきました。

しかし、付け替え工事後の18世紀以降の堺は、堺以南の地域と関係を深め和泉国の中心都市として独自の商工業都市的発展を遂げました。また上流から河口へ運ばれた土砂の堆積を利用した新田開墾が行われ、現在の三宅町地域の原型が形成されています。

本展では、付け替え後の大和川流域を描いた「大和川筋図巻」を中心に堺と新大和川との歴史的な関係を様々な展示品によって紹介し、18世紀以降の堺の歴史を振り返る材料を提供いたします。

主な展示品

「大和川筋図巻」（当館）

「紀州藩参勤交代行列図巻」（当館）

「大和川沿村支配絵図」（写本）（堺市立中央図書館）

「大和川堤防模型」（大阪府立狭山池博物館）

「大和川寄洲取払図」（写本）（堺市立中央図書館）

「大和川流域パネル」（柏原市立歴史資料館）

大和川水系ミュージアムネットワーク

本展は、大和川水系ミュージアムネットワーク企画事業です。史料などを協同で実施したほか、スランブリー、シンポジウム等の事業に参加しています。

次回の展覧会

企画展「邪馬台国時代の堺」

平成17年2月5日（土）～（月）10日（日）

大和川こどもまつり



11/27 (土)

小学生が主人公のたのしいおまつり。大和川クイズ・チェックポイントゲーム・甲斐兵衛10代目丸兵衛さんのお話・たこづくいとたこあげ大会・フランクフルトややきそば、わたがし、ヨーヨーつりほども店もあるよ!!
大和川河口が見える、**海とのふれあい広場**にみんなできてね!!

- 主催：堺市（大和川・堺キッズプロジェクト実行委員会）
 日時：11/27(土) AM10:00~PM3:00頃（小雨決行、大雨中止）
 場所：海とのふれあい広場（築港八幡町 舊海兵衛跡地 下段側席）
 アクセス：無料駐車場有り 約500台 ※公共交通機関はありません
（駐車場に限りがありますので、友達同士の乗り合わせなどでおいし下さい。）



問合せ先

大和川村替え300周年記念事業 大和川・堺キッズプロジェクト実行委員会事務局（堺市建設局土木部河川水路課内）

TEL: 2 2 8 - 7 4 1 8 FAX: 2 2 8 - 7 8 6 8

URL: <http://www.city.sakai.osaka.jp/city/info/kasem/index.html>





住友社のお通り（堺市虫橋欄より）



瀬戸台風による三五小学校の被害



家産山左衛門材木（同和11）（1932年）

丸屋町 丁橋区



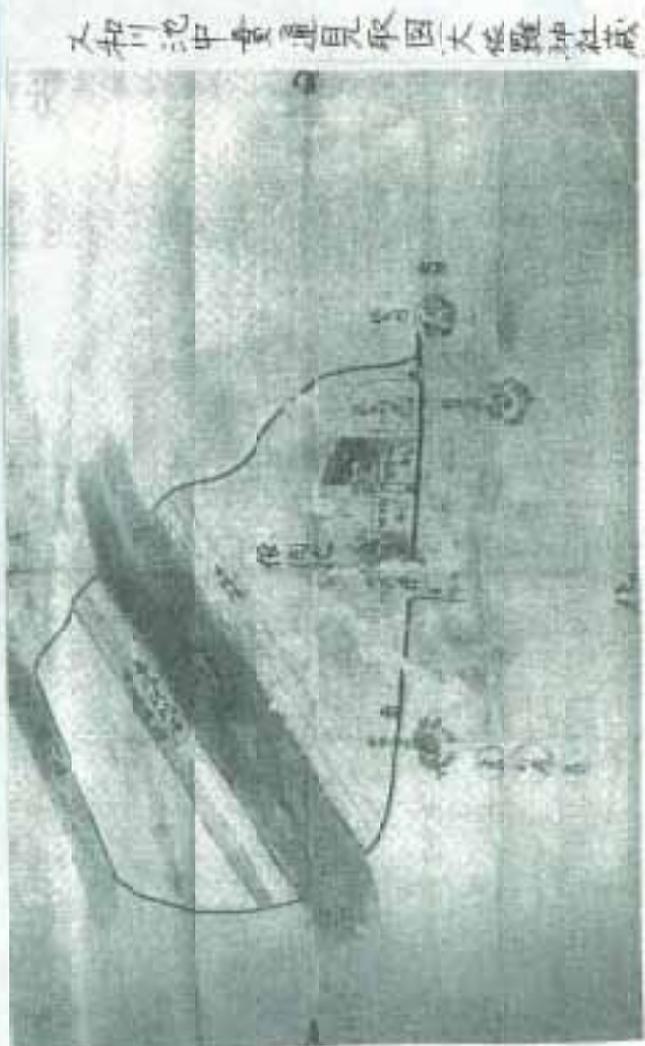
関西式風水塔跡群像資料（左・同和11念（1936））



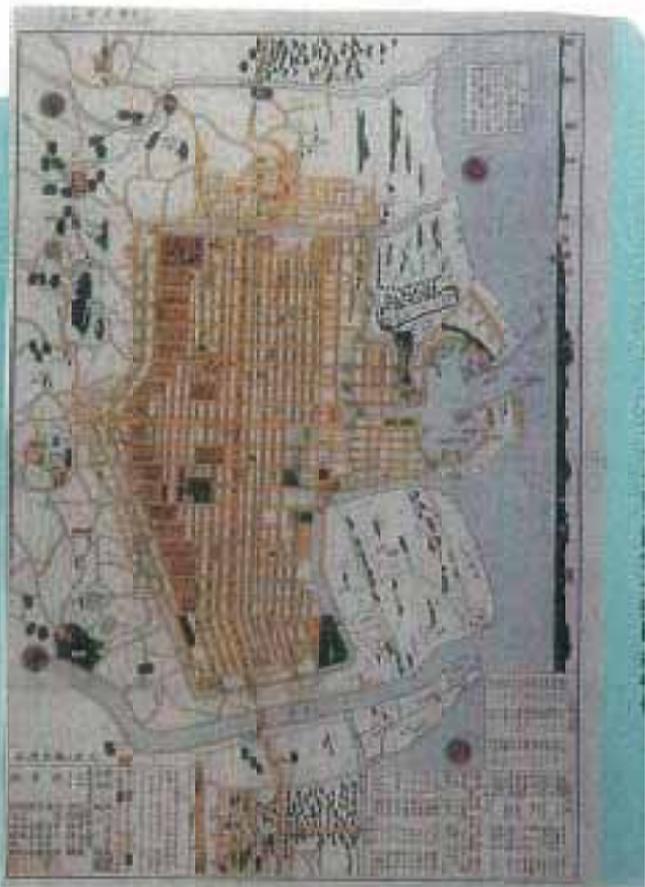


堺市指定有形文化財 住吉祭礼図屏風(すみよしさいれいずびょうぶ)

右隻・江戸時代初期 堺市博物館

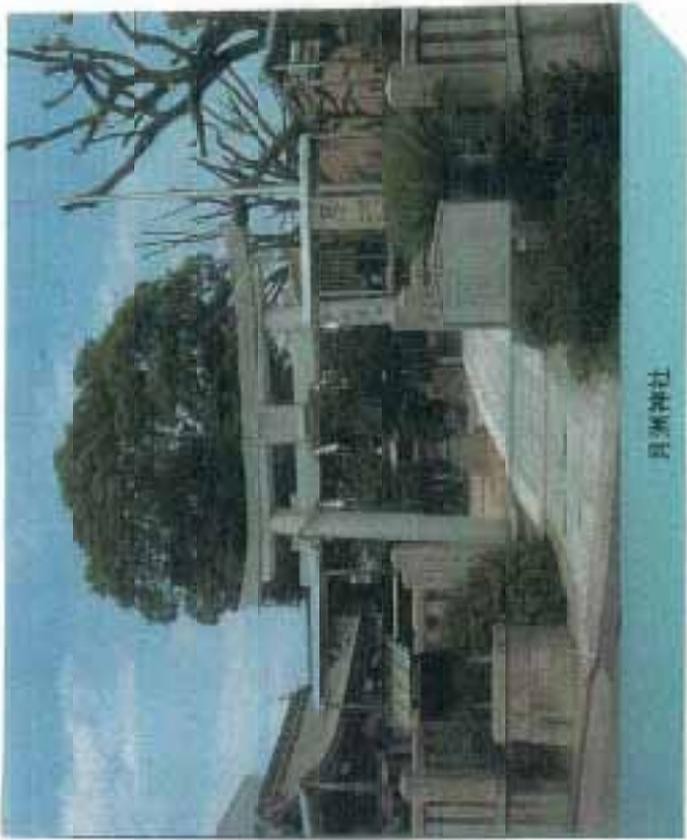


大和川池田中流通見取図大佐羅神社蔵

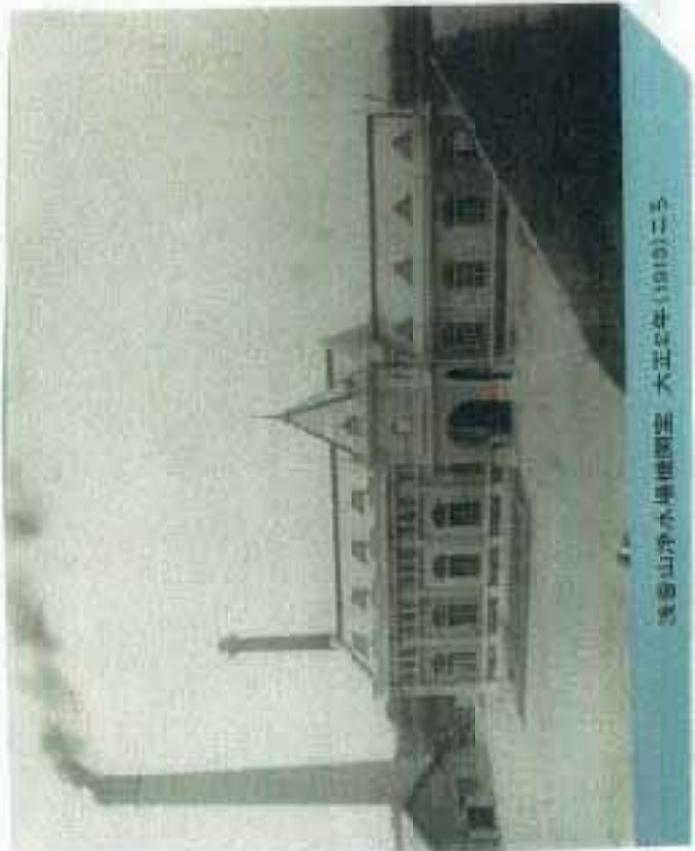




田守神社



月洲神社



浅香山浄水場植樹園 大正元年(1910)ころ



浅香山浄水場へ女和川を渡る

利用あない

- 開館時間/午前9時～午後4時30分
(入館は、開館の30分前まで)
- 休館日/毎週月曜日、祝日の翌日、
12月29日～1月3日
(祝日が金、土曜日に限っては翌日開館)
- 入館料/無料
川のシアター(3Dハイビジョン)を鑑賞される方は、あらかじめ受付にて整理券をお受け取り下さい。(無料)
上映時間は約15分、内容が変わることがあります。
- 大淀川学習館案内図



- 交通案内
 - バス/宮交バス 国富-榑方面、吉野方面行きなどのバスで「大淀川学習館前」バス停下車(徒歩1分)
(エレベーターを併設した横断歩道橋をご利用下さい。)
 - JR九州/「宮崎神宮駅」下車 車10分



MIYAZAKI CITY

ひろげよう3つの市民運動

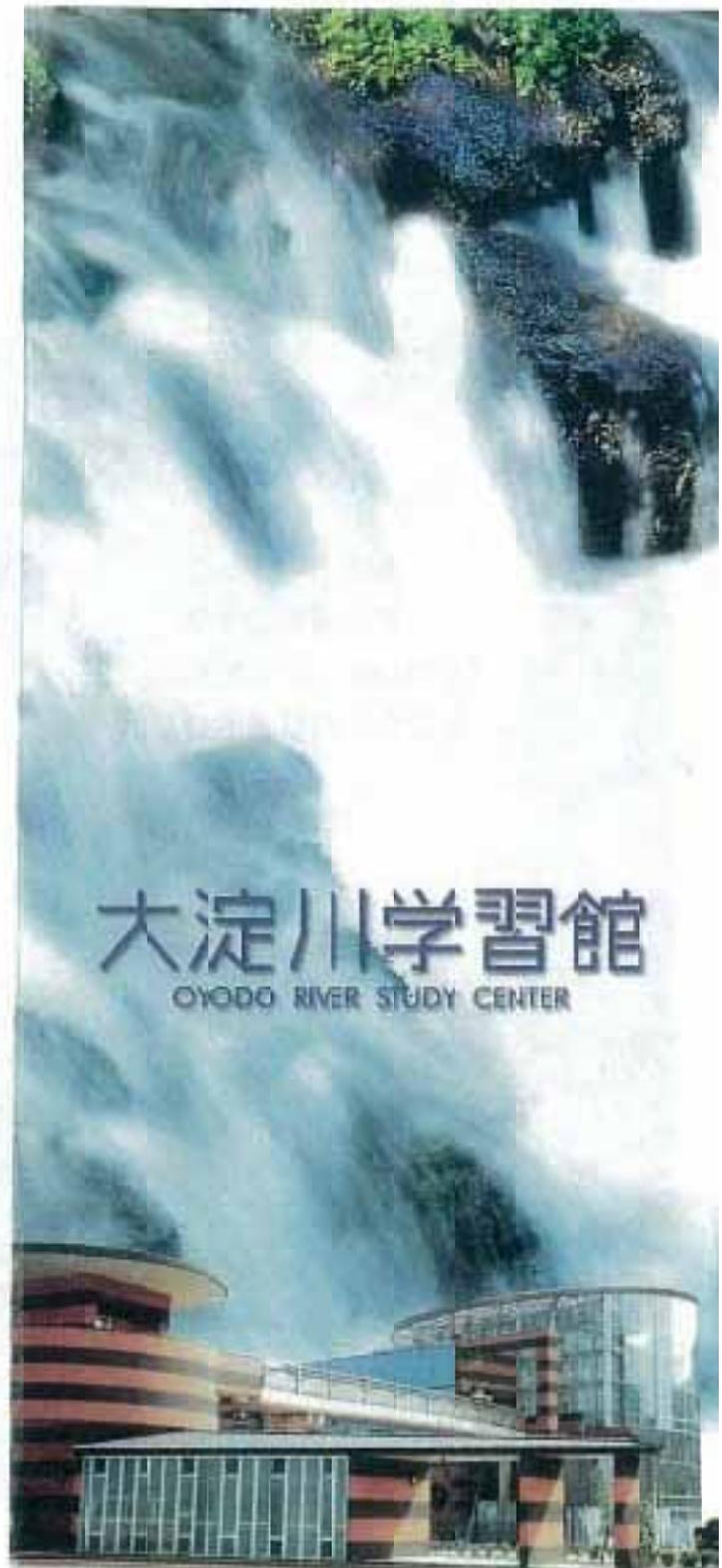
- きれいにしよう大淀川
- みやまに緑と花を
- そだてよう明日をになう子供たち

宮崎市 宮崎市教育委員会 (財)宮崎文化振興協会



大淀川学習館

〒880-0035 宮崎市下北方町5348番地1
TEL. 0985-20-5685 FAX. 0985-22-8481
URL: <http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/cul/oyodo/>



大淀川学習館

OYODO RIVER STUDY CENTER

見て、ふれて、 楽しく学ぶ

大淀川学習館は、
宮崎市の3つの
市民運動の1つ
「きれいにしよう大淀川」の
シンボリックな施設です。

大淀川水辺の桑校と
あわせて、自然観察・
自然体験や環境教育など、
大淀川の恵まれた自然を
広く学習・体験できるような
展示を工夫しています。

1F

エントランスホール

大淀川流域全般について模型や映像等によって紹介します。



① エントランスホール

大淀川観察ステーション



② 大淀川観察ステーション



川のシアター

四季折々の大淀川の豊かな自然が、高精細の立体映像で再現され、目の前に迫ってきます。50名収容



③ 川のシアター(3Dハイビジョン)

ホタル展示室

ホタルの生態について映像やパネルで紹介しています。



④ ホタル展示室



ホタルの幼虫ケワニナなどを飼育しています。



大淀川水辺の楽校 ~自然とふれあい 自然を学ぶ~

自然体験・自然学習ができるよう、自然観察歩道、多自然型水路、ため池、野鳥観察ポイント、多目的広場、ベンチ・水飲み場のほか、樹木・野草・野鳥の解説板を設置してあります。

学習館でもいろいろは行事を実施します。



生体展示ホール 大淀川の生き物に触れる



⑤ 大型水槽

上流域、中流・下流域、河口域の3つの大型水槽に、アカメなど大淀川の代表的な魚を展示しています。

⑥ 小型水槽

大淀川やその支流にすんでいる、魚や水質小動物を展示しています。季節によりタッチプールも設置します。



自然楽習園



⑦ 自然楽習園

おもにチョウなどの昆虫と植物との関係など、自然の姿を見る力を育てます。季節の生き物の生態が観察でき、チョウが産卵に舞う姿を楽しめます。

2F 実験・工作室

大淀川流域の自然の素材を使って、観察・実験・工作などをおこないます。70名収容



⑧ 実験・工作室

図書・情報室



⑨ 図書・情報室

図書やパソコンで、自然や環境について調べることができます。ビデオコーナーや学習コーナーを設置。読書コーナーとあわせて、ここから自然楽習園を見おろすことができます。



その他、ボランティア室や多目的に使用できるレクチャー室を備置。大淀川水辺の系船には、エレベーターを併設した階段歩道橋で行くことができます。



利用あんない



■交通案内 (宮崎市内から)

- ・宮交バス「緑」または「国富」方面行き
「大淀川学習館前」バス停下車、徒歩1分
- ・JR九州「宮崎神宮駅」下車、車10分



ひろげよう3つの市民運動
 ○きれいにしよう大淀川
 ○ふやそうまちに緑と花を
 ○そだてよう明日をになう子供たち

お問い合わせは…

(財)宮崎文化振興協会 大淀川学習館
 〒880-0035 宮崎市下北方町5347-1
 TEL 0985-23-5685/FAX0985-22-8481
 宮崎市 都市整備部 街路公園課
 〒880-8505 宮崎市橋通西1-1-1
 TEL 0985-21-1814
 国土交通省 宮崎工事事務所 河川管理課
 〒880-8523 宮崎市大工2-39
 TEL 0985-24-8221

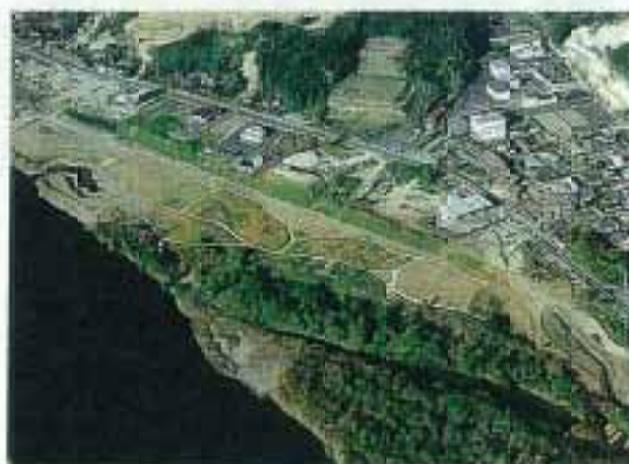
自然

とふれあい

自然

を学ぶ

大淀川水辺の楽校



「みんなあつまれ！ 大淀川であそぼ！」

「大淀川水辺の楽校」の周辺は、多くの動植物
多くのこされた数少ないところす。

また、明治時代まで名田渡し(みょうだのわたし)
場所でもあります。

が生息・生育する、大淀川下流でも豊かな自然が

として、多くの渡し船が往来していた歴史的な

大淀川の植物や動物などの自然と ふれあい、遊び、楽しく学ぼう！



A 自然観察歩道

視覚障害者誘導ラインを設置しています。



B 多自然型水路

水生生物や植物が観察できます。



C ため池(人工池)

時期によつてカエルの卵なども観察できます。



D 野鳥観察ポイント

野鳥観察ポイントが3箇所あります。



E 多目的広場

広い芝生の広場です。



F ベンチ・水飲み場

ベンチや水飲み場が設置してあります。



アルファベットは地図上の場所を示しています。

G ジャぶじゃぶ池(水生生物観察ワンド)

手すりやスロープがあり、車いすなどでも移動できます。



じゃぶじゃぶ池の中にはいろいろな生き物があります。何がみつかるかな？



大淀川水辺の楽校近辺で見られる生き物

※大淀川水辺の楽校ブにジョイントによる調査結果より※

- 哺乳類: オビ, タチアナギ, アカメアナギ, セイタカアワダチソウ, チガヤ など
- ほ乳類: ノウサギ, アカネズミ など
- 鳥類: カワセミ, カイツブリ, コアジサシ, ミサゴ, ムクドリ など
- は虫類: ミラシッピーアカミミガメ(ミドリガメ), トカゲ, カナヘビ, など
- 両生類: アマガエル, ニホソアカガエル, ママガエル, ウシガエル など
- 魚類: ギンブナ, メダカ, モツゴ, ブラックバス, ブルーギル, など
- 昆虫類: タデハモトキ, ムラサキジミ, トンボ, バツタ, カメムシ など
- その他: モウズガニ, テナリエビ, エビ, カワニナ, スマヨビ など

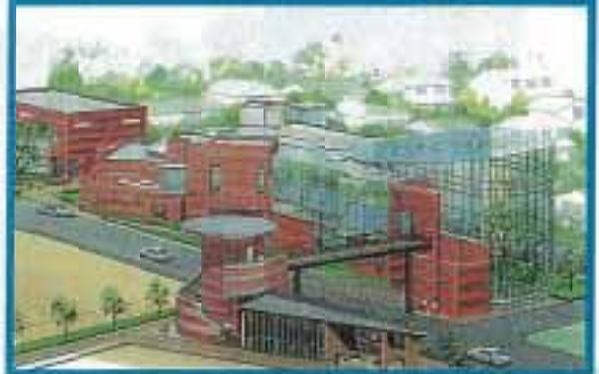
身のまわりの動植物に目を向けてみよう。
自然の神秘さや不思議に目を向け、感性を磨き、
新たな発見をしてみよう。

気をつけましょう

- じゃぶじゃぶ池や川では泳げません。
- むやみに生き物を持ち帰りません。
- よそから生き物を持ってきません。
- 草むらの中には入りません。
- 生き物の立場になって観察しましょう。

大淀川のことならおまかせ!

大淀川学習館に行ってみよう!



大淀川の自然や生き物などについて楽しく学べます。

■ 施設の概要

施設面積	約5.5ha
自然観察歩道	幅3m 長さ1,500m
多目的広場	5000m ²
多自然型水路	幅4.4m 長さ93m
駐車場	2800m ² (50台)
屋外トイレ	1箇所
横断歩道橋	仁レバー併設・大淀川学習館に接続
じゃぶじゃぶ池	

「里山の楽校」利用あんない

●利用時間/午前9時～午後4時30分

大淀川学習館の休館日はご利用できません。
休館日/毎週月曜日、休日の翌日
(休日が金、土曜日に当たっては翌日閉館)

●利用料/無料

●大淀川学習館「里山の楽校」案内図



●交通案内

□バス/宮交バス田宮・夜方面、吉野方面行きなどのバスで「大淀川学習館前」バス停下車、徒歩1分
(エレベーターを併設した横断歩道橋をご利用下さい。)

□JR九州/「宮崎神宮駅」下車 車10分

大淀川学習館正面入口左側のログハウスが目印です。



MIYAZAKI CITY

ひろげよう3つの市民運動

○きれいにしよう大淀川

○みやそうまちに緑と花を

○そだてよう明日をになう子供たち

宮崎市 宮崎市教育委員会 (財)宮崎文化振興協会



大淀川学習館

〒880-0035 宮崎市下北方町5348番地1
TEL.0985-20-5685 FAX.0985-22-8481
URL <http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/cul/oyado/>



よみがえれ 里山



大淀川学習館
「里山の楽校」

木々と動物と
人間の関わりを
学ぼう！
Let's 里山の復元！

屋外体験施設



大淀川水辺の楽校

水や植物や動物などの
自然とふれあい、
遊び楽しく学ぼう

屋内体験施設



大淀川学習館

「きれいにしてよう大淀川」
見て、ふれて、楽しく学ぶ

里山って、なんだろう？

昔は、人家や集落の周りに森や林や山がありました。その森や林や山は自然を生かした生活の場であり、人々が自然と共生する所です。その中心となっている森や林や山を、里山といいます。



多目的施設「木の家」



展望施設



遊具コーナー



地層観察コーナー

ほうちりん

放置林

木が切られたあとには、場所や年月によって自然に林ができません。このような林を放置林としました。

主な木
アサギカサ、カシ、クヌギ、スギ、マツ、アケボノ、クマノシ、クマノシ、クマノシ

緑陰樹

ここでは木陰をつくる木である「緑陰樹」が植えられています。

主な木
センダングサ、スズナ、アケボノ、クマノシ

地層観察コーナー

えんかいりん

沿海林

海の近くには、松林や岩場の林があります。このような林を沿海林としました。

主な木
クヌギ、スギ、マツ、アケボノ、クマノシ、クマノシ

竹・笹

ここには竹や笹の仲間が植まっています。竹や笹は生活に多く利用されています。

主な竹・笹
アサギカサ、アサギカサ、アサギカサ、アサギカサ

しゅじりん

社寺林

神社や寺が建てられた所には、こもりとした林がよくあります。このような林を社寺林としました。

主な木
スズナ、クヌギ、アケボノ、クマノシ、アケボノ

じんこうりん

人工林

生活に必要な木を人の手で植えた林があります。このような林を人工林としました。

主な木
クヌギ、コナラ、クワ

ぎつぽくりん
(ぎつぽくりん)

雑木林

昔は家や集落のまわり林が広がっていました。このような林を雑木林としました。

主な木
アケボノ、クヌギ、スギ、マツ、アケボノ、クマノシ

